

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

2階 介護 石川 美奈子

7月5日に七夕会の一環として、ハンドベルの演奏が披露されました。

1階の職員が各階を回り「七夕さま」や「海」など季節にちなんだ曲を披露しました。ハンドベルの演奏に合わせて歌詞を口ずさむ方、手拍子をする方などがいらっしやり、参加された方々はそれぞれ思い思いの方法で楽しませておりました。

今後も利用者の皆様が楽しんでいただけるような催し物を計画していきたいと思えます。



3階 介護 佐々木 大輔

じりじりと照る太陽が夏本番の気配を感じさせる今日この頃、そんな中7月19日に併設の病院と合同で避難訓練を行いました。今回は日中と夜間の火災を想定し消防職員の方に来所いただき訓練を行いました。

事前に利用者の皆様には火災を想定した避難訓練があることを伝えていましたが、いざ火災報知機の音が激しく鳴り響くと表情が硬くなる方や、びっくりされる方もいらっしやり緊張感のある訓練を行うことができました。

いざという時に職員が迅速に動けることで、利用者皆様の安全と生命を守ることができることを改めて確認できた避難訓練となりました。



2階 看護 古山 由歌子

今年もまた暑い夏がやってきました。

コロナ感染症は第5類へと引き下げられましたが、感染者数は徐々に増え9度目となる感染拡大の兆しを見せています。当施設では手洗いや口腔内の清潔維持などの感染対策を引き続き行っております。



また自然災害が各地で起きており、秋田県内も大雨により甚大な被害を受けました。自然相手では太刀打ちできないことが多

くありますが、もしもの備えにより防ぐことができることもあります。

中々平常時にもしもの備えをすることは難しいですが、災害のニュースなどを機にご家庭や周囲の方と話をしてみるのも良いかもしれません。



相談室 佐々木 智広

下記の保険証類で更新されたものが、まだお手元にある方は、窓口までお持ちいただきますようお願い致します。

- ・後期高齢者医療被保険者証
- ・後期高齢者医療限度額適用

標準負担額認定証

- ・国民健康保険限度額適用

標準負担額認定証



【面会について】

新型コロナウイルス及びインフルエンザ感染防止の為、面会を中止させていただいておりましたが、新型コロナウイルスの5類変更に伴い、5月8日より、マスク着用と手指消毒のうへ1階での面会が可能となっております。

面会可能時間 10：00～12：00

13：30～16：00

※ただし小学生以下（小学生を含む）や体調不良の方（下痢、風邪症状のある方や37.5℃以上の方）は、引き続き面会を御遠慮いただいております。

なお面会は一度に2名迄とし、同じ時間に面会希望者が重なった場合お待ちいただくことがございます。また面会時間は大旨10分程度で、面会の際はご利用者にお手を触れる事、ご利用者とご家族の方はマスクをずらす事、外す事のないようお願い致します。約束をお守りいただけない場合、面会を中止させていただきます。

ご家族の皆様には長期間に渡り、面会制限にご協力いただきありがとうございました。なお感染者数の増加などに伴い、再度面会を制限させていただく場合がございますので、ご了承ください。

○お問い合わせ先

介護老人保健施設「しょうわ」

0184-23-7100（代）